

にゅー 柔ワイヤ工法[®]

施工要領書

セット内容		
柔ワイヤ固定金具 / 8 個	柔ワイヤ引留金具 / 2 個	柔ワイヤロープ / 2 個
		
コード : 290101001		

この度は、お買上げ頂き、誠にありがとうございます。

▲ 安全上のご注意

- ・施工要領書には、商品を安全に正しくお使い頂くために、重要な内容を記載しております。必ず、内容をご確認の上、取扱いをお願いいたします。

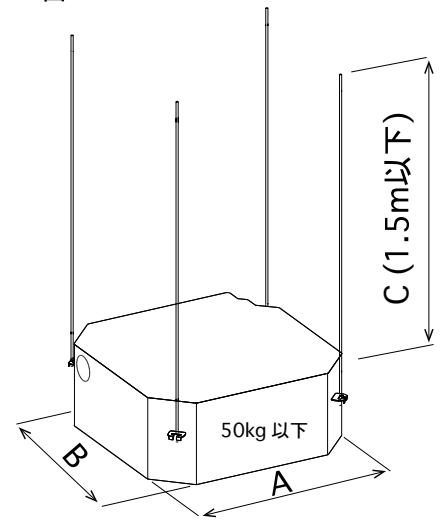
日栄インテック株式会社



施工時、ご使用上の注意

- 本来の使用目的以外での使用はご遠慮下さい。
- 同梱されている商品以外は使用しないで下さい。
性能が十分に発揮されない場合があります。
- 使用される機器サイズと重量を必ずご確認ください。図1参照
(A辺B辺C辺合計3.5m以下 重量50kg以下の機器にご使用下さい。)
- 吊り高さ1.5m以下でご使用下さい。図1参照
- ワイヤに鋭利な角を当てないで下さい。
- 柔ワイヤ引留金具に強いテンションがかかると
ロック解除できません。
- ワイヤには、油やペイント等つけないで下さい。
(摩擦力等、十分な効果を発揮できません。)
- ワイヤの切断は、ワイヤカッターを使用して下さい。
- 上下2連以上の工法の使用はご遠慮下さい。
- 商品の再利用はできません。
- 機器の交換時には、柔ワイヤセットを交換してください。

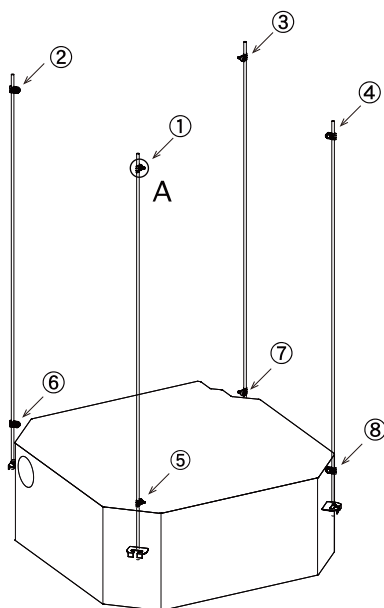
図1



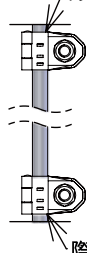
施工方法

手順①

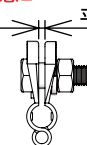
ワイヤ固定金具を吊りボルトの四隅 ※注意1・際まで に工具等で
ワイヤ固定金具の隙間が平行 ※注意2 になるまで締結します。
※推奨締め付けトルク 12.5N/m



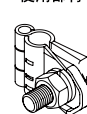
注意1 際まで



注意2 平行



使用部材



ワイヤ固定金具

手順②

ワイヤ固定金具に柔ワイヤロープを①⑥③⑧の
順番で取付ます。

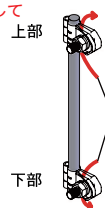
注意1・事前に柔ワイヤロープの結束を解き、ねじれやよれが
ないようにしてください。

注意2・ターンバックルのボルト部に隙間が無い様、ボルト同士を
つき合わせセットして下さい。

注意3・原則、上部金具は下から挿入、下部金具は上から挿入して
ください。

注意4・ターンバックルが対角の中心に来るように取付けて
下さい。

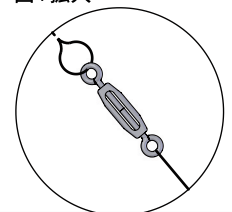
注意1



上部

下部

図1拡大



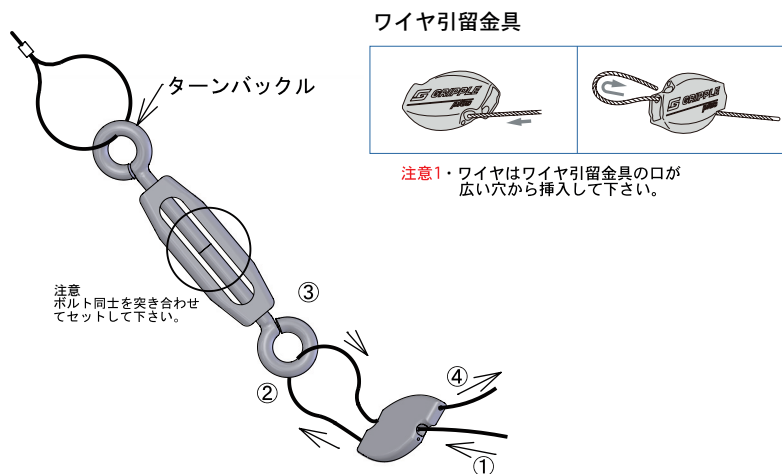
使用部材



柔ワイヤロープ

手順③

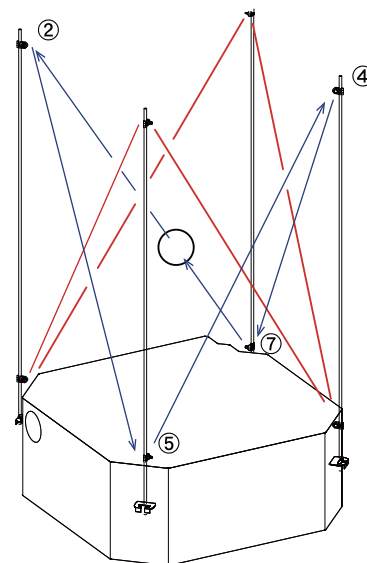
手順②図1箇所のワイヤ端部をターンバックルとワイヤ引留金具を使用し締結します。ワイヤのワイヤ引留金具への挿入方向に注意して下さい。ワイヤ引留金具のロック解除方法はP3を参照下さい。



手順④

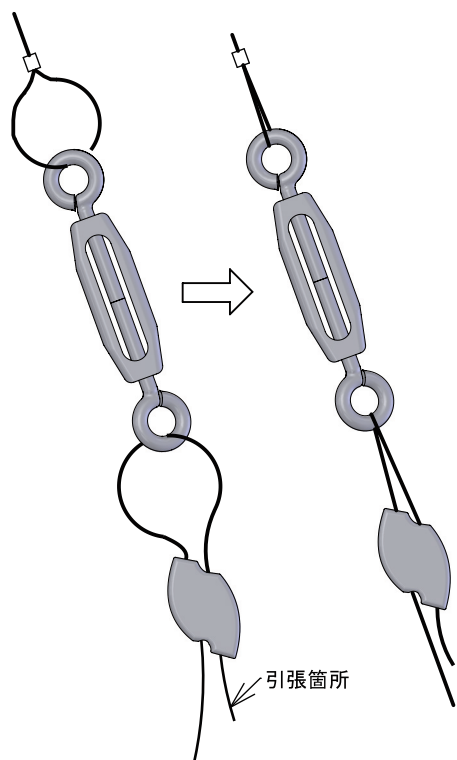
ワイヤ固定金具に2本目のワイヤを手順②と手順③同様に②⑤④⑦の順で取付けます。

注意1・手順②のターンバックルの対面に2本目のターンバックルが来るように取付けて下さい。



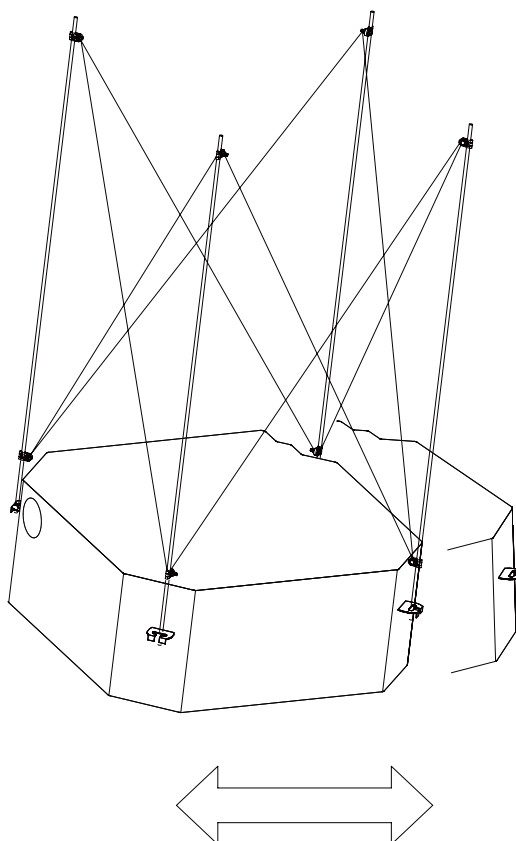
手順⑤

ワイヤ引留金具に取付けてワイヤ端部を適度な強さで引張り、ワイヤ全体にテンションをかけます。



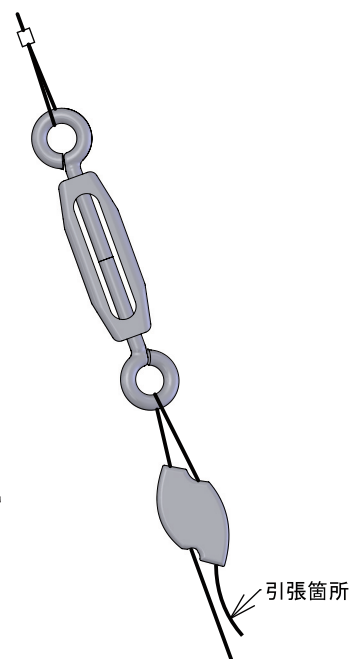
手順⑥

吊り機器を揺らし、テンションをワイヤ全体にいきわたらせます。



手順⑦

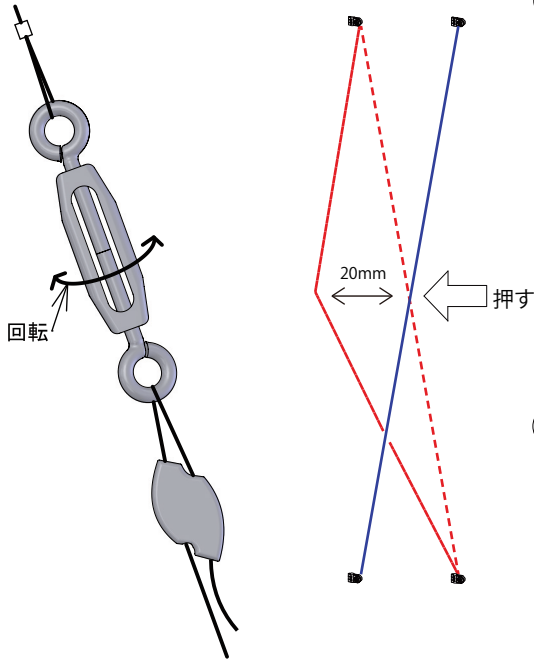
テンションをいきわたらせた後、再度テンションを掛けます。



手順⑧

ワイヤのテンションは、ワイヤの交差部中央から 20mm ほどたわむ程度に調節して下さい。

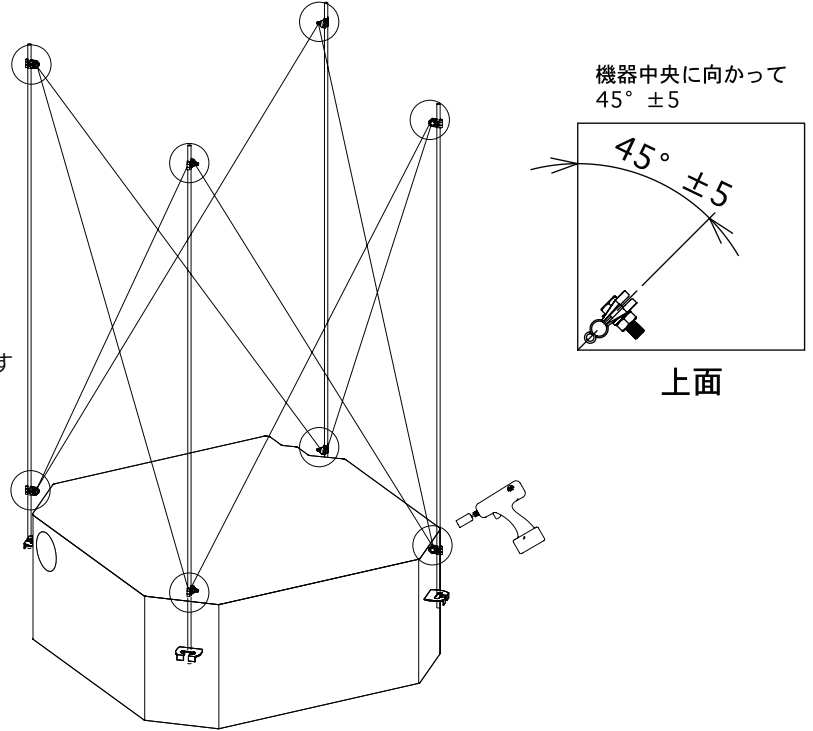
※テンションをかけ過ぎの場合、ターンバックルをゆるめ調節して下さい。



手順⑨

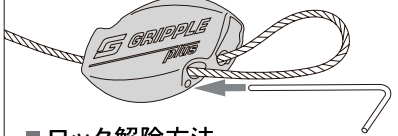
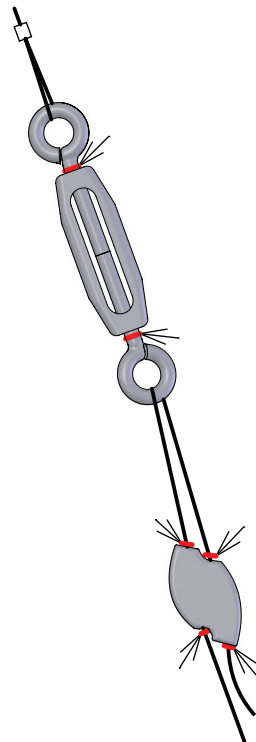
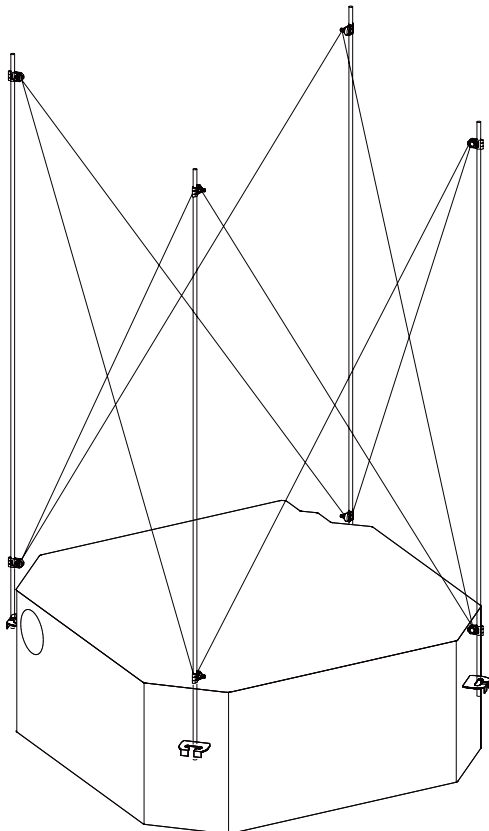
ワイヤの張力でワイヤ固定金具の角度が安定しますので (片効き防止)、その角度のまま工具で完全に締結して下さい。(概ね $45^\circ \pm 5^\circ$ 程度)

※推奨締め付けトルク 12.5N/m



取付完了

各部ガタつきやワイヤ・吊りボルトのたわみ等無い事を必ずご確認下さい。切断した端部ワイヤがバタつく場合テープ等で固定して下さい。緩みを目視確認できるように、矢印部分にマークを入れて下さい。



■ ロック解除方法
セッティングキーを本体のキー穴に挿入し、押しながらワイヤを引き戻します。
※ワイヤに強いテンションがかかるとロック解除はできません。